

皆様、長い連休が終るとすっかり季節は春真っ盛りですが、いかがお過ごしですか？
こちら岸和田のお城の桜の樹も新緑に衣替え。実にすがすがしい青空が続いています。

それでは和歌山大学岸和田サテライトの5月6月の新着情報をお送りいたします。
＝第112回 わだい浪切サロン「新元号「令和」と万葉集―大伴旅人をめぐって―」＝

新元号が「令和」になりました。これが元号としては初めて、国書である『万葉集』から採られたことも話題になっています。また巻五の「梅花の宴」の序文であることが新聞にも紹介され話題になっています。

さて九州大宰府で開催されたこの宴はどのようなものだったのでしょうか？
実はこの宴を主催した大伴旅人、60歳を越して都の奈良から福岡に赴任しています。
そして赴任後すぐ、老妻を亡くすのです。

遠隔地への赴任、亡妻への嘆き、病気や体調不良.....

実は万葉集巻五はリタイア世代の生活ともつながっているのです。

優雅なイメージが強い和歌ですが、それとは違った一面もあるのだとか。

今回はその万葉集巻五の紐解きながら、新元号と万葉集の話題をお送りいたします。

話題提供者は、和歌山大学教育学部教授 紀州経済史文化史研究所長 菊川 恵三さんです。

日時 2019(令和元)年5月15日水曜日 19時～20時30分

場所 岸和田市立浪切ホール4階特別会議室

(☆1階ではございませんのでご注意ください)

【申込不要 参加費無料】

詳しくは下記サイトをご覧ください。

http://www.wakayama-u.ac.jp/kishiwada/pickup/pickup_87.html

続いて6月の浪切サロンのご紹介です。

＝113回 わだい浪切サロン「地域の資源を活用して行う認知症予防活動の成果と現状」＝

近い将来認知症やその予備軍は日本だけで700万人にもなるとされております。

これは高齢社会日本の解決しなければいけない大きな問題です。

近年、アルツハイマー型認知症を予防するには発症する前の生活習慣や運動習慣が非常に重要であることが分かってきました。さらに、認知機能が少し低下した方であっても運動や知的な活動に取り組むことで認知機能の一部が改善することも明らかになってきました。今回は、認知症予防に必要な知識をお伝えするとともに、貝塚市内で実施している「つげさん認知症予防プロジェクト」の取り組みを分かりやすくお伝えしたいと思います。

話題提供者は、大阪河崎リハビリテーション大学 理学療法学専攻助教の今岡 真和さんです。

日時 2019(令和元)年6月19日水曜日 19時～20時30分

場所 岸和田市立浪切ホール 1階多目的ホール

【申込不要 参加費無料】

詳しくは下記サイトをご覧ください。

https://www.wakayama-u.ac.jp/kishiwada/pickup/pickup_88.html

今回も盛り沢山でしたが、最後までお読みいただき誠にありがとうございます。

次回もお楽しみに☆

☆和歌山大学岸和田サテライト

〒596-0014 大阪府岸和田市港緑町1-1 浪切ホール2F

TEL/FAX 072-433-0875

e-mail kishiwadastaff@wakayama-u.ac.jp